

2020/7/10

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

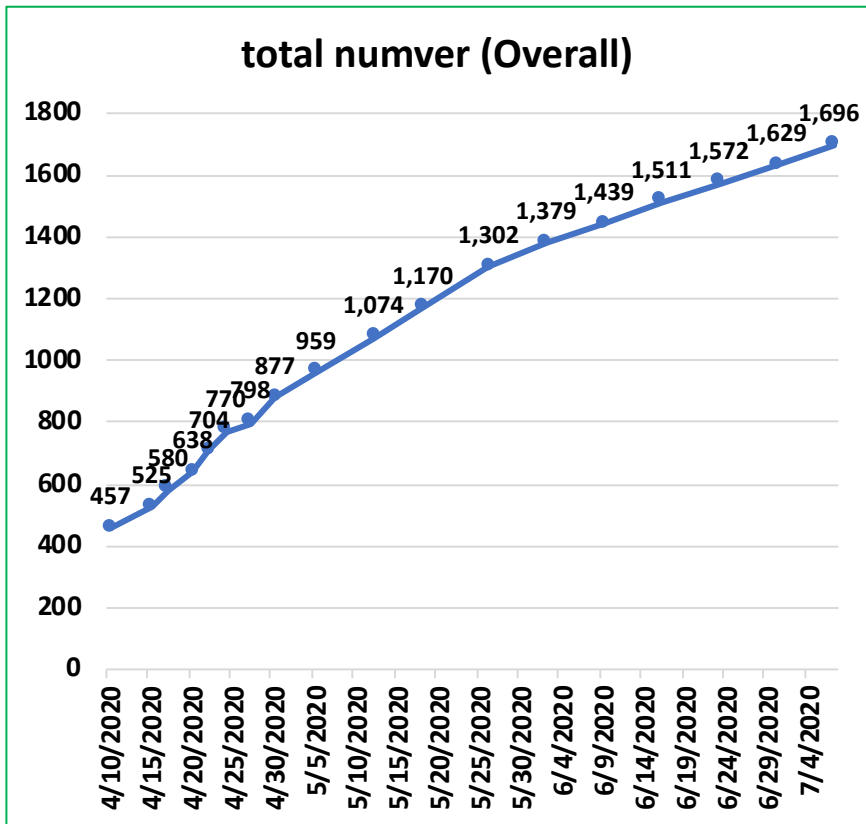
Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

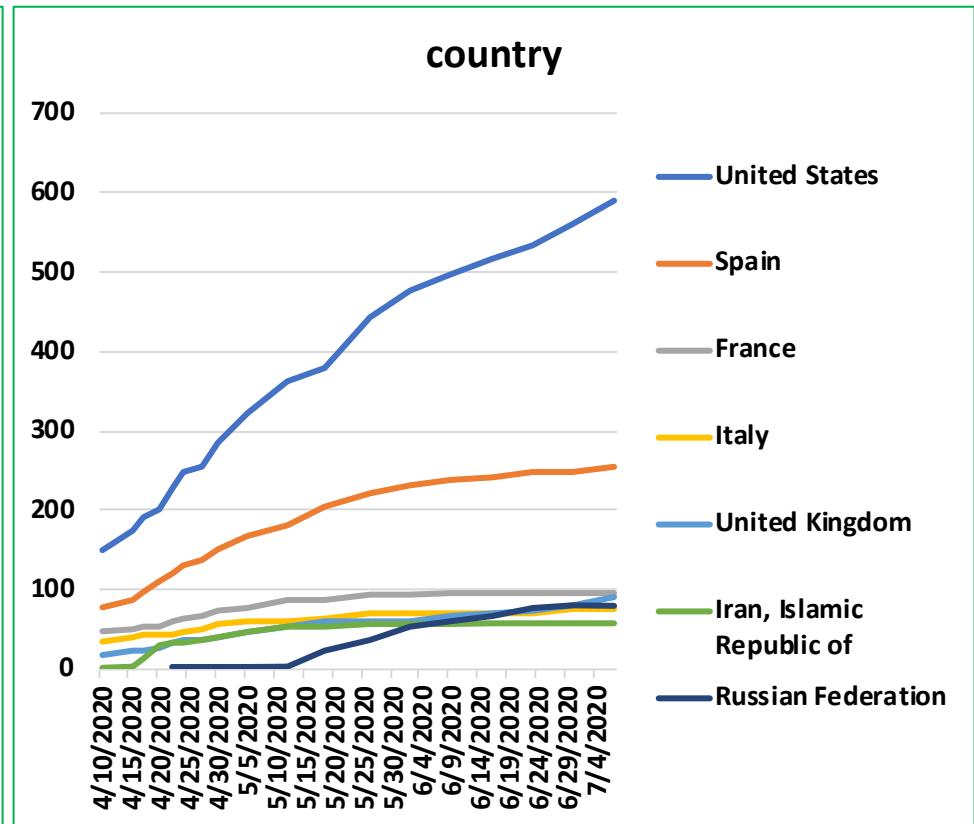
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on July /9/2020.

COVID19感染IBD患者数の推移

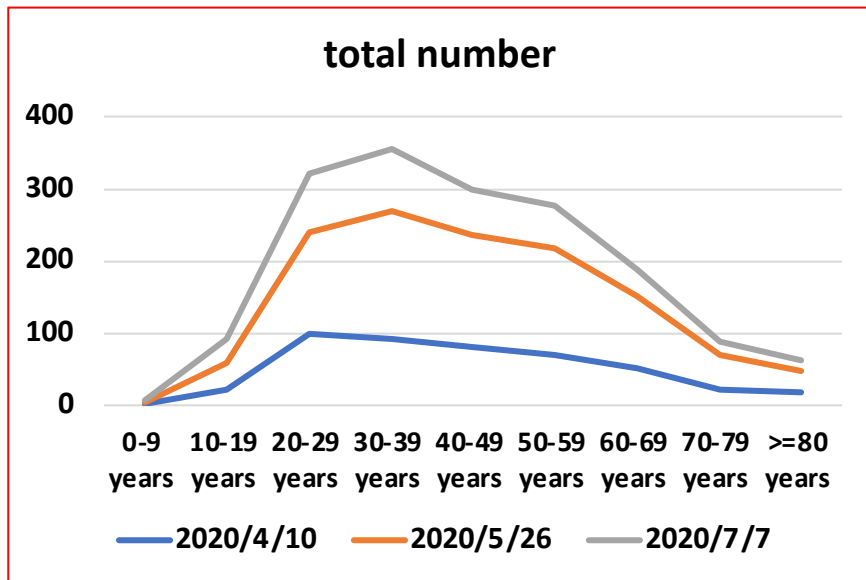


感染者数上位7カ国

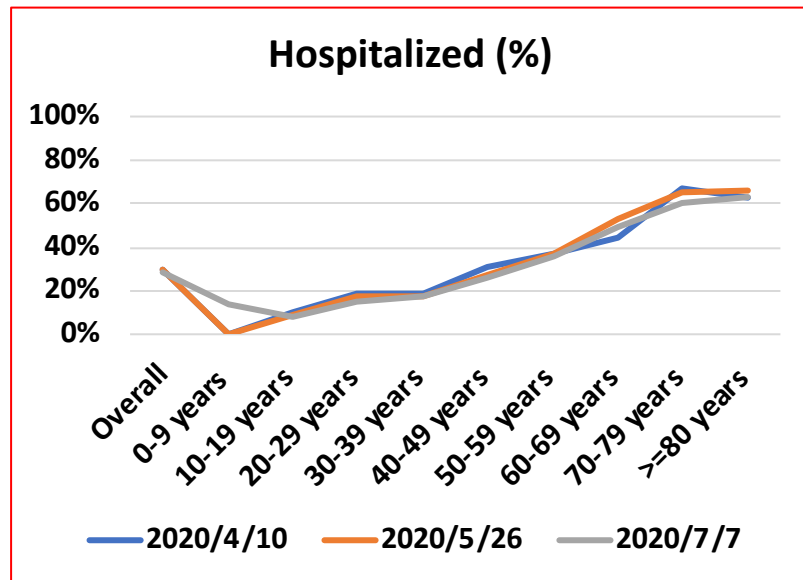


- COVID-19に感染したIBD患者数の増加はやや緩徐になってきている。アメリカは増加が続いており、最近はイギリスやロシアで増加傾向である。スペイン、フランス、イタリア、イランは増加が乏しくなってきた。

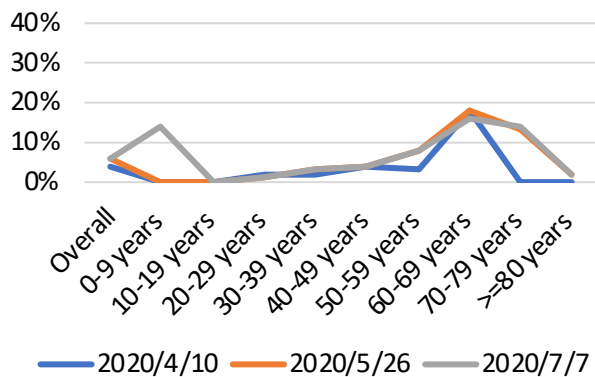
感染患者の年齢分布



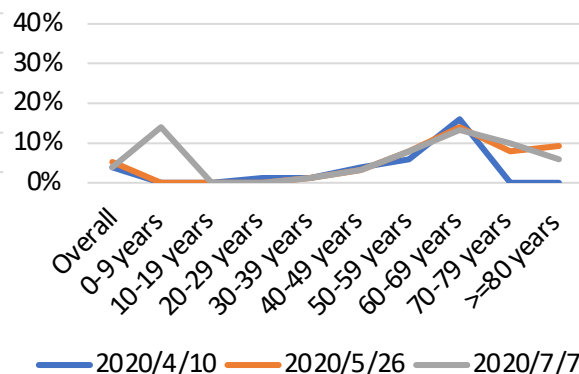
入院患者年齢分布



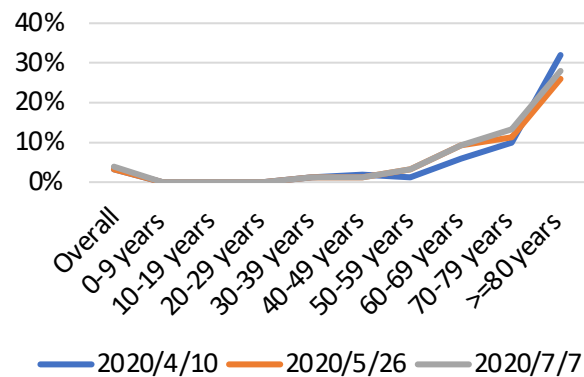
ICU (%)



Ventilator (%)

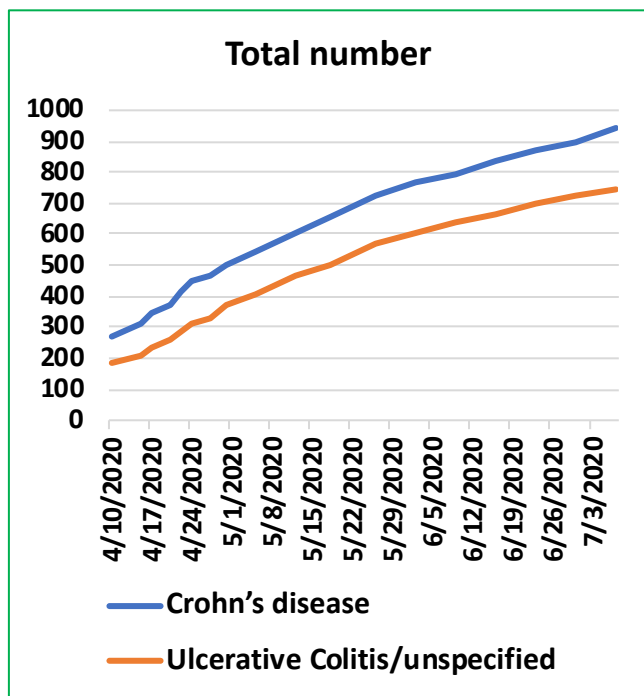


Death (%)

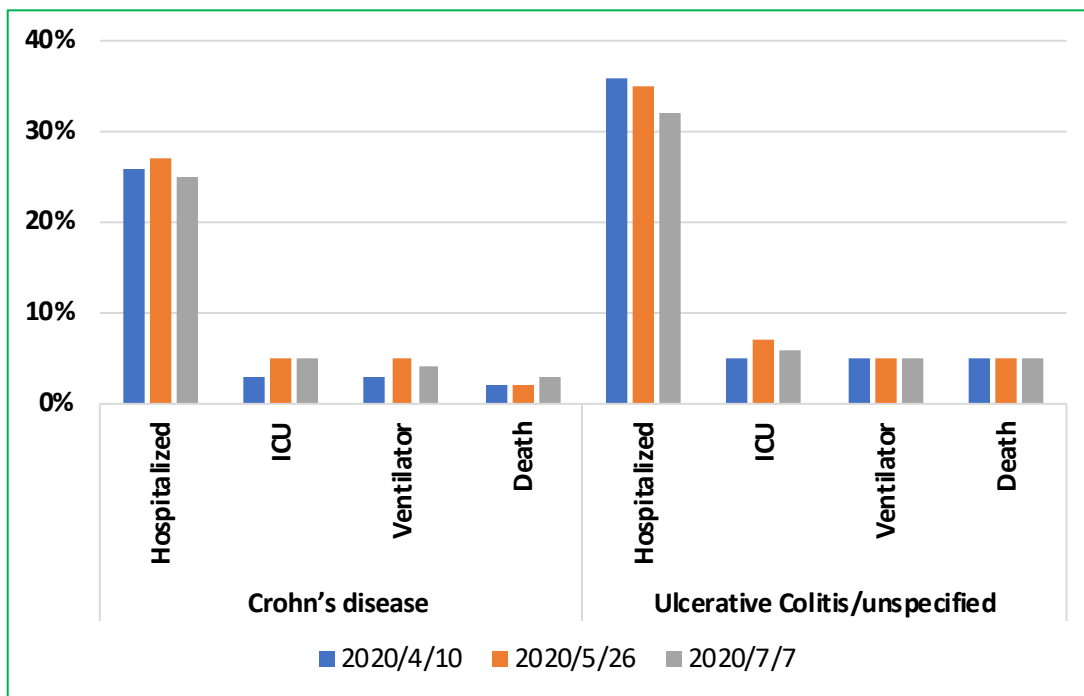


- 0-9歳でICU管理率、人工呼吸器管理率が増加しているが、母数が少ないため評価は難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少していない。

疾患別患者数

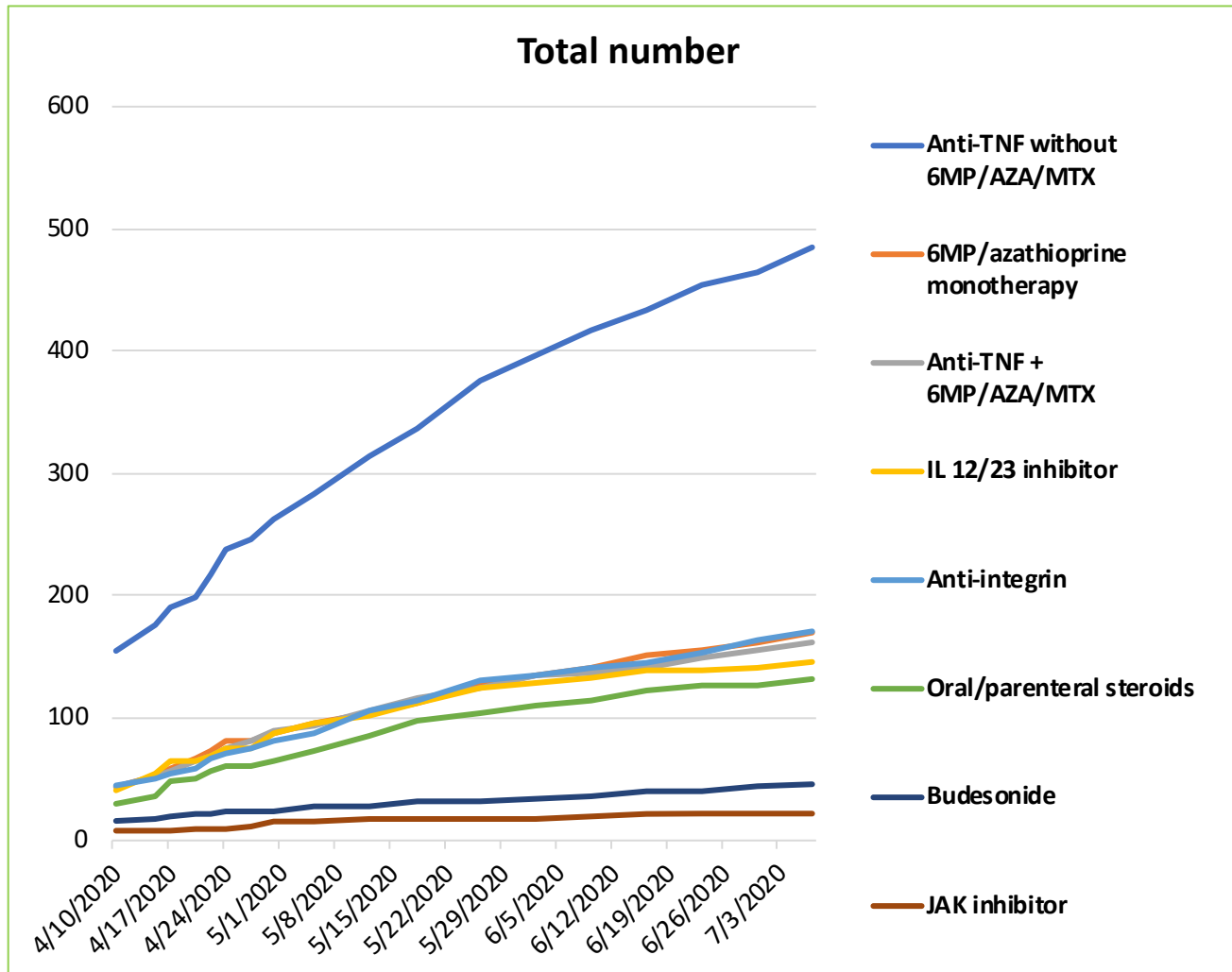


疾患別重症度の割合



- 入院率、ICU管理率、人工呼吸器管理率、死亡率は、現在も潰瘍性大腸炎の方が高値ではあるが、クローン病との差はやや少なくなっている。

治療別の患者数

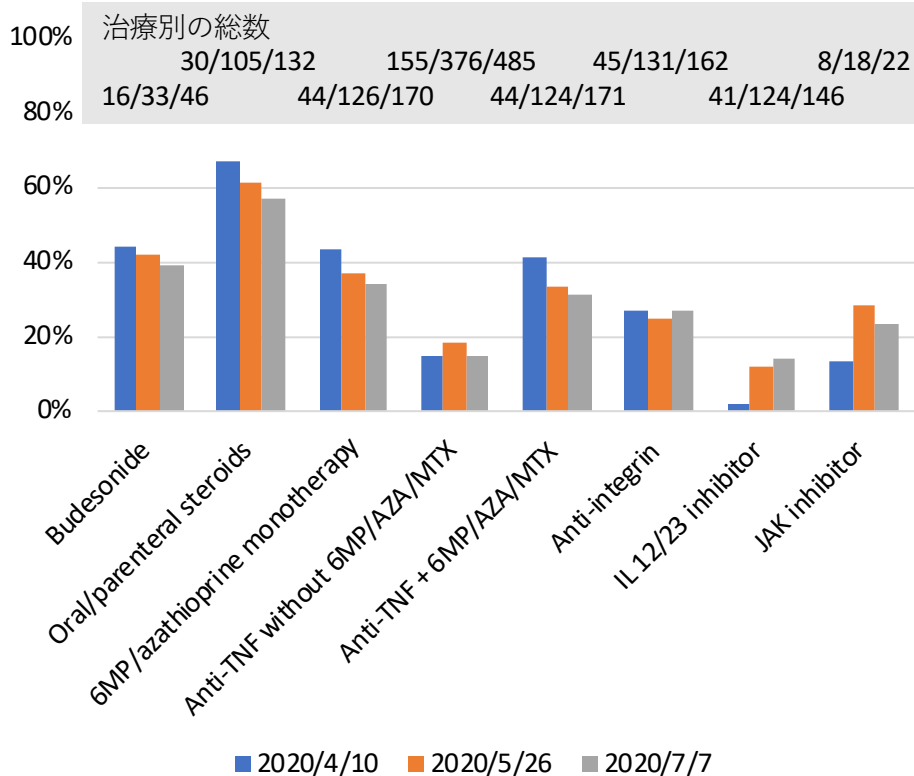


- 緩徐ではあるがBudesonideの症例数が蓄積してきている。
- JAK inhibitorの症例数はまだそれほど多くはない。

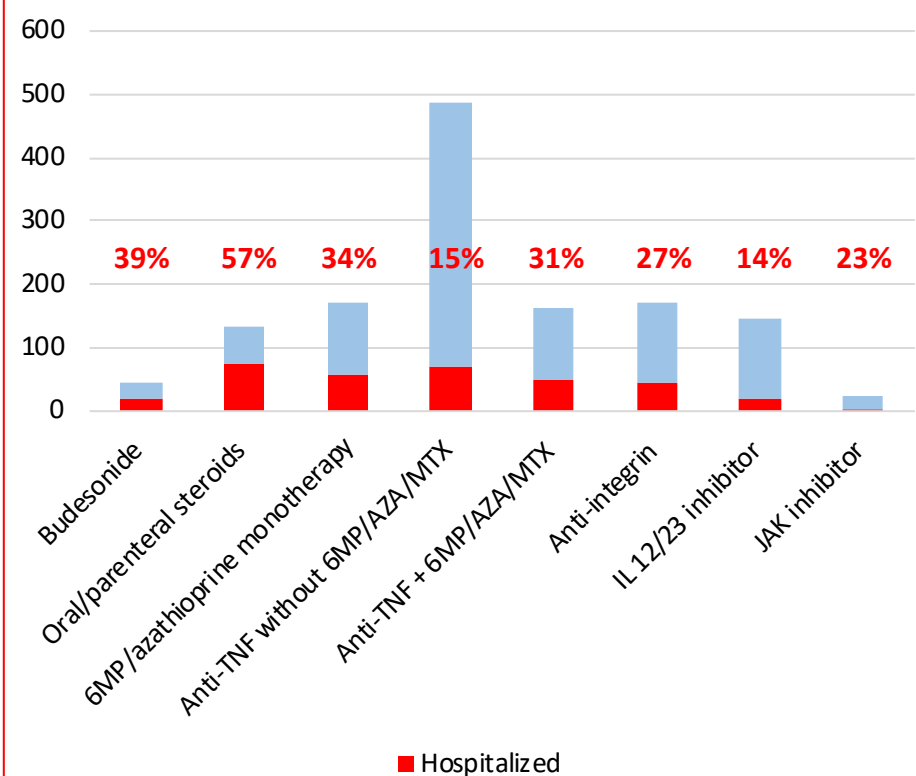
治療別の入院率の推移

治療別の総数と入院率

Hospitalized (%)



2020/07/07



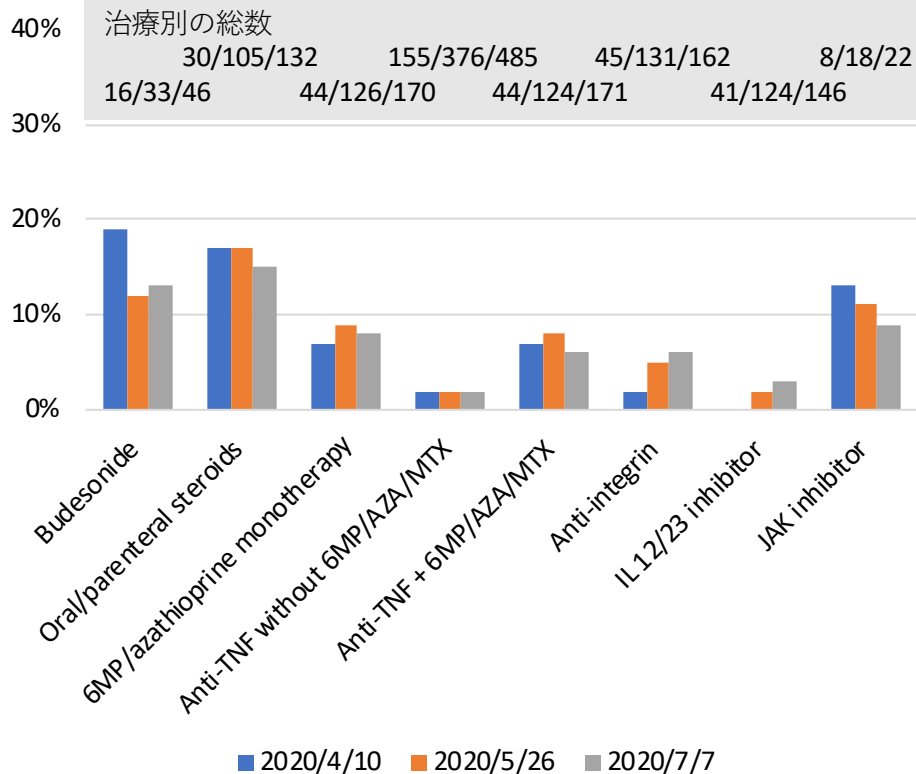
- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの入院率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較すると高値である。

治療別のICU管理率の推移

ICU (%)

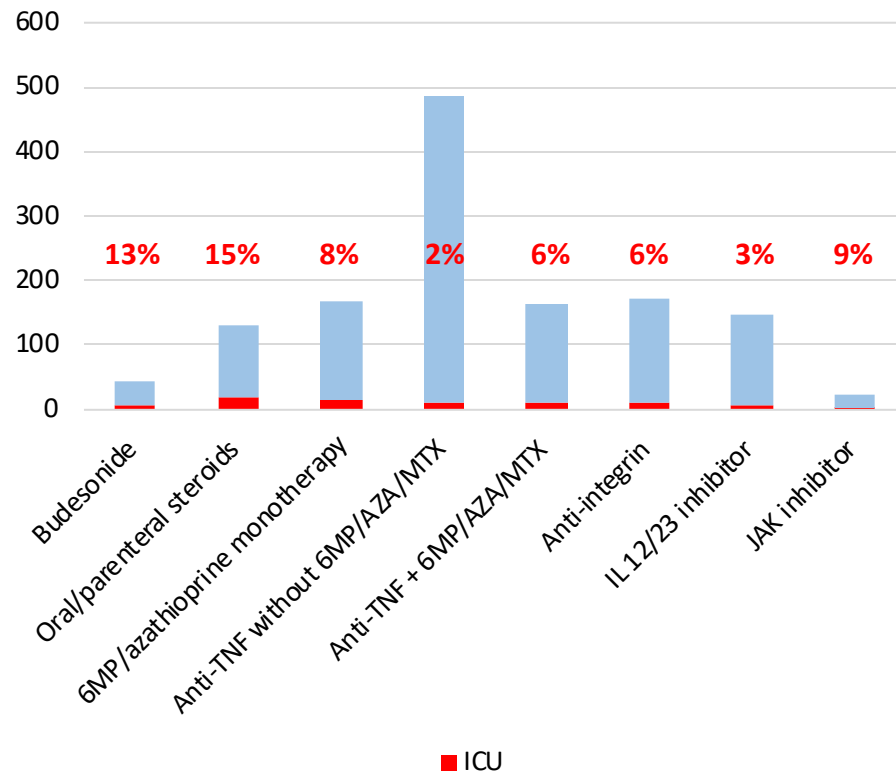
治療別の総数

30/105/132	155/376/485	45/131/162	8/18/22
16/33/46	44/126/170	44/124/171	41/124/146



治療別の総数とICU管理率

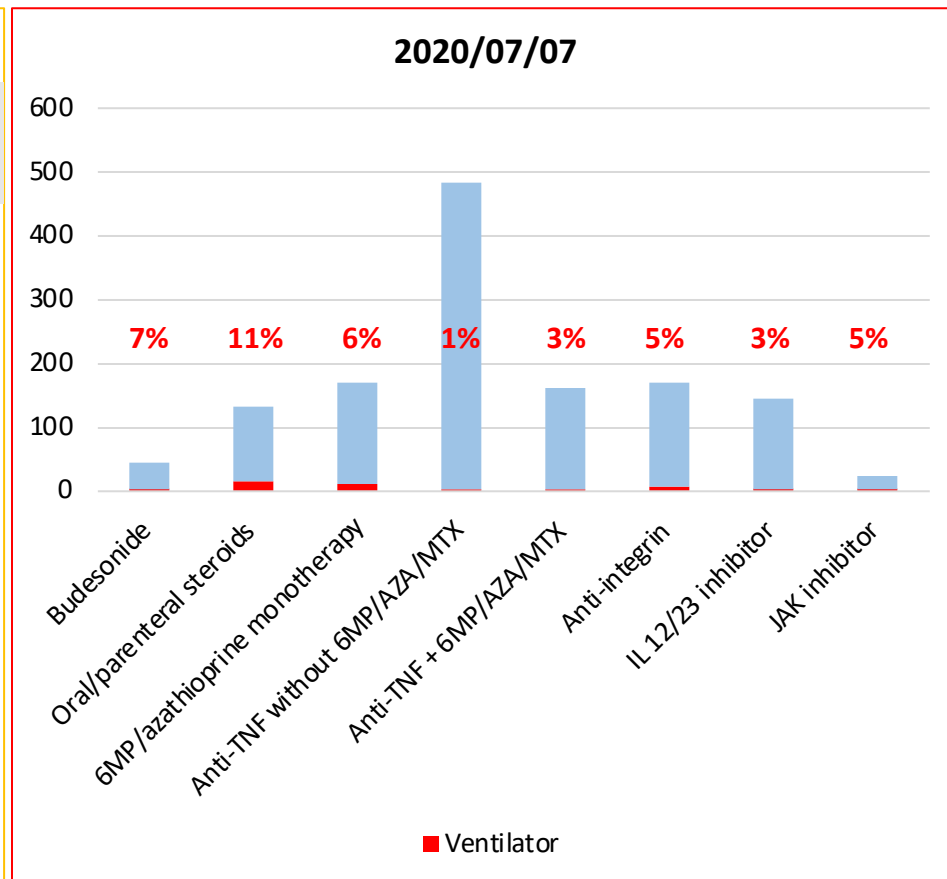
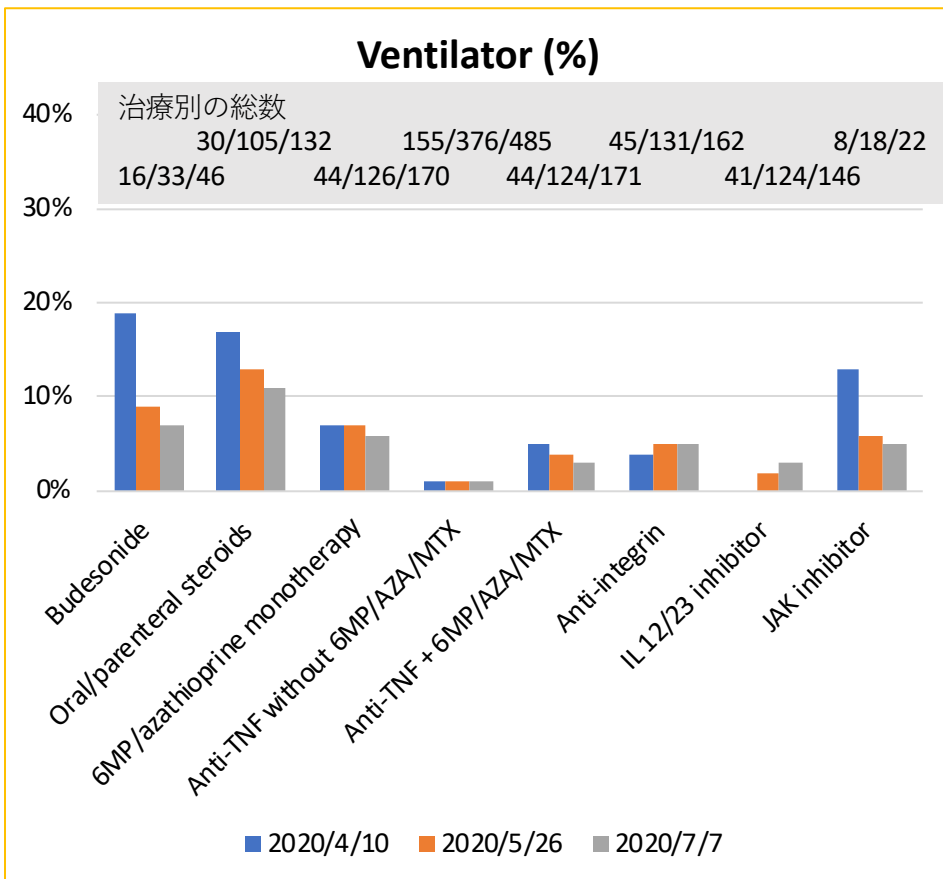
2020/07/07



- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- BudesonideのICU管理率はOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

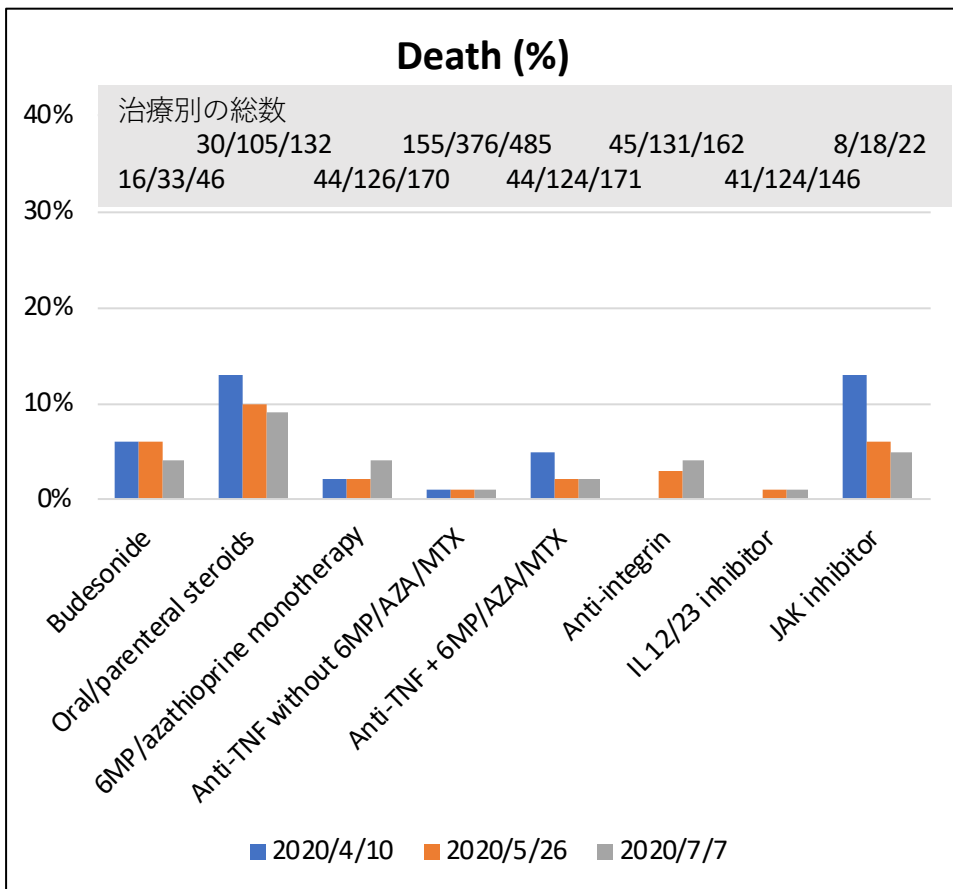
治療別の人工呼吸器管理率の推移

治療別の総数と人工呼吸器管理率

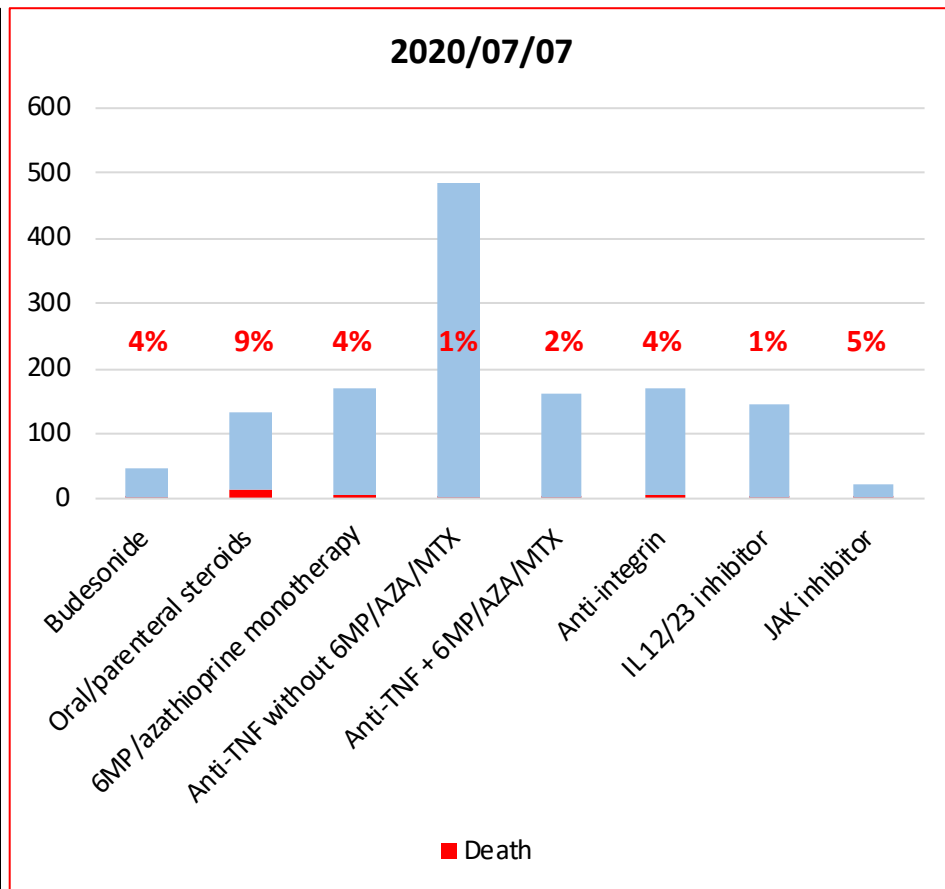


- 人工呼吸器管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの人工呼吸器管理率もOral/parenteral steroidsよりは低値の可能性はあるが、他の治療と比較すると高値である。

治療別の死亡率の推移



治療別の総数と死亡率



- 死亡率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値が続いている。
- Budesonideの死亡率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較すると高値である。